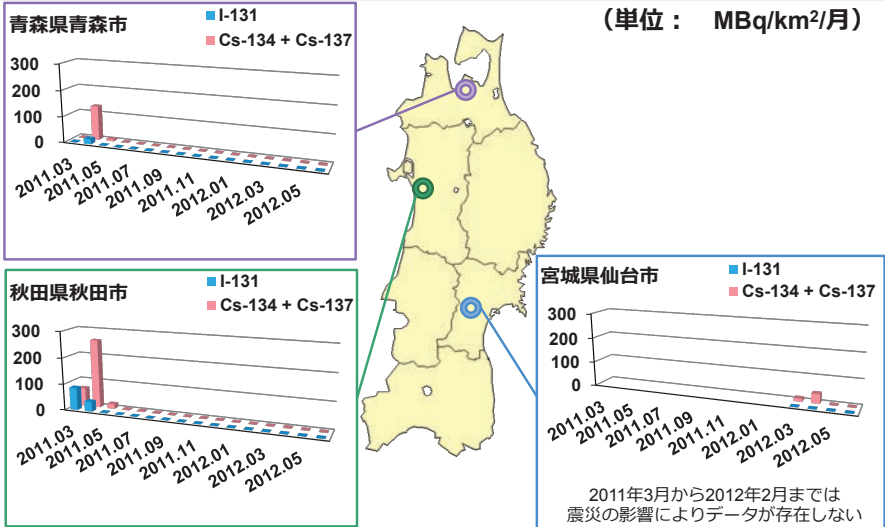


降下物中の放射性物質

セシウムとヨウ素の降下量（青森県・秋田県・宮城県の際時変化）



MBq/km²/月：メガベクレル/平方キロメートル/月

文部科学省発表：環境放射能水準調査結果（月間降下物）
放射能情報サイトみやぎ より作成

東京電力福島第一原子力発電所から 380km 離れた青森市、270km 離れた秋田市において、事故直後に放射性セシウム（青森市：1 か月で 1 平方キロメートル当たり約 130 メガベクレル（平成 23 年 4 月）、秋田市：1 か月で 1 平方キロメートル当たり約 260 メガベクレル（平成 23 年 4 月））、放射性ヨウ素（青森市：1 か月で 1 平方キロメートル当たり約 20 メガベクレル（平成 23 年 4 月）、秋田市：1 か月で 1 平方キロメートル当たり約 90 メガベクレル（平成 23 年 3 月））の降下が観測されましたが、それ以降は、放射性降下物が大幅に減少したことが分かります。

こうした降下物に対応するため、平成 23 年 3 月 17 日には厚生労働省が食品の暫定規制値を定め、流通制限を行い、3 月 18 日からは文部科学省（当時）が宮城県及び福島県を除く各都道府県において毎日 1 地点の水道水の検査を実施しました。

本資料への収録日：平成 25 年 3 月 31 日

改訂日：平成 28 年 1 月 18 日